

CVIT2024 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会②

① 今回の学会・研修の内容

今回の CVIT2024 のテーマは「改革と進歩の融合」でした。この学会では、心血管疾患患者に対する有効かつ安全な心臓カテーテル治療の開発と発展を目的に行われ、今回は第 32 回開催との事でした。学会は、心血管インターベンション治療に関する最新の研究や治療のトピックについての専門家による講演、シンポジウムやポスター発表などもあり、参加者は見学することができます。

② 今回の学会に参加した感想や印象に残った発表

印象に残った発表は、冠動脈 CT を用いて術前仮想ステント計測を行うというもので、ステント挿入する前に、心血管のモデル上でステントの位置やサイズをシミュレーションする技術で、冠動脈 CT にて高解像度の3D 画像で血管の詳細な構造も可視化し、複雑な血管形状に対する理解が深まり、ステント留置の精度が向上し、患者予後にもつながるというものでした。

今回 CVIT2024 に参加して最新の知識と技術を学ぶ貴重な機会になりました。得られた情報や技術を今後のカテーテル業務に活かしていき、より良い医療を提供できるように努めていきたいと思えます。

柏厚生総合病院 臨床工学科 鈴木 啓介 北海道科学大学出身

